


<単元> **高い土地の暮らし** (教科書5年上 p.32~p.39)

<めあて> 高い土地に住む^{つまごい}孺恋村の人々の暮らしや産業には、どのようなふうがあるのだろうか。

1 教科書 p.32の「孺恋村と東京の月別平均気温」のグラフを見て気づいたことを書きましょう。

2 教科書 p.33 を見て、()に言葉を入れ、孺恋村についての説明を完成させましょう。

- ・孺恋村は、群馬県の()部に位置し、()山・()山・()山に囲まれ、低いところでも標高()m以上の高原にある村です。
- ・孺恋村の中央部には、()湖という大きな湖があり、そのまわりには、多くの()畑が広がっています。
- ・孺恋村では、毎年7月上旬に()大会が行われています。

3 孺恋村の暮らしや産業について、調べてみたいことを1つ挙げましょう。また、教科書以外で調べる方法も考えてみましょう。

【調べてみたいこと】

【教科書以外の調べ方】

4 教科書 p.34~p.35を見て、孺恋村が、どのようにしてキャベツづくりがさかんな村になっていったのかをまとめましょう。

【キャベツづくりがさかんになった孺恋村】

- ・()のえいきょうで、土地は()おり、なかなか作物が育たなかった。
- 昭和のはじめごろまで、農家は売る作物は少なく、冬は()に出ていた。



- ・1929年、村の人々が()でキャベツをつくり始めた。
- ・1935年、村の中心を通る()ができ、交通が便利になる。
- ・1966年、国の()になる。



現在は、()のキャベツの生産地となった。

5 教科書 p.36～p.37を見て、嬭恋村のキャベツづくりのくふうについてまとめましょう。

【キャベツづくりのくふう】

・嬭恋村のキャベツづくりでくふうしている所とその理由を、3つ書きましょう。

【くふう①】
【理由①】
【くふう②】
【理由②】
【くふう③】
【理由③】

・「**6** 季節ごとのキャベツの産地」のグラフのように、嬭恋村(群馬県)の夏秋キャベツの出荷量が、他の地域に比べて多いのはなぜですか。考えを書きましょう。

・このように時期をずらし、気候などを生かして作物をつくる方法を何というか答えましょう。

--

6 教科書 p.38～p.39を見て、嬭恋村の豊かな自然をいかした生活について考えましょう。

【豊かな自然を生かした嬭恋村】

・「**1**～**4**の写真」は、次のどの特色を生かしていますか。次のア～ウから選びましょう。

ア 高い土地ならではの、涼しい夏の気候を生かしている。
イ 地元で作られている作物を利用している。
ウ 気温が低く、雪の多い冬の気候を生かしている。

- 1** スキーを楽しむ……()
- 2** スケートをする小学生……()
- 3** 自転車レース……()
- 4** 小学校の給食……()

7 学習した嬭恋村の生活と自分の生活を比べたり、つなげたりして、自分の考えをまとめましょう。
